



- 玉村町PTA連絡協議会機関誌
- 事務局 玉村町立玉村中学校
- 発行責任者 鈴木 正樹
- 発行日 令和4年3月1日

令和3年度

連協だより

連協だよりに寄せて

玉村町PTA連絡協議会会長 鈴木 正樹

玉村町PTA会員の皆様におかれましては日頃よりPTA活動に対しまして、多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大から二年。新たな変異株が未だに猛威を振るう中、学校現場やご家庭においても様々な制限を強いられ、教育活動そしてPTA活動が思うように出来ない状況が続いています。その中で子ども達の学びや遊びといった日々の活動は止まることがない現状に、皆様のご苦労は絶えないかと思えます。

先が見えず、あと何年で終息するかわからない状況ですが、子ども達の成長を止めることは出来ません。限られた時間の中で、子ども達の教育環境、生活環境を私たち大人が守っていかなければなりません。そのためにも保護者の皆様や学校職員、地域の方々と連

携し、出来る事を見つめながら、子ども達の為に活動していくことが大事だと思います。

私たちPTA役員も子ども達に何ができるのかを検討し子ども達の笑顔を守れるように、また少しでも笑顔を増やしていけるよう頑張ります。

そして、何年後に『コロナ禍だったけど、楽しい学校生活だった!』と、子ども達が笑顔で思い返せることができれば幸いです。

最後になりますがコロナ禍であっても、一日一日を笑顔で楽しく過ごせることを心から願います。



玉村中学校PTA副会長 板橋 伸晃

未だ収束しない新型コロナウイルスが蔓延する中、新年度のPTA活動が始まりました。一旦落ち着いた感染拡大も、新年を迎えるとともに、新たな変異ウイルスによる更なる感染拡大が発生し、なかなか今までどおりの生活に戻ることは出来ません。

このような状況のなか、新たな生活様式により、PTA活動もさることながら、子供達の学校生活においても様々な影響が出ております。本来であれば今まで普通に開催出来ていた様々な行事があらゆる規制を要し、時には中止になるイベントもございました。

子供達にとっての今は最も多感な年頃であり、自立に向けて心身ともに基礎を築き、人間力を高める大切な時期です。限られた学校生活を守るため私たちPT

Aは何が出来るのでしょうか。今回、私たちがPTA活動を行うにあたり学んだことは、不要な活動を省き、子供達の学校生活にとって必要な物、必要なことを重点的に検討、進めていくことです。

PTA活動の理念は、保護者と教職員が協力し合い、家庭、学校、社会における子供達の健全な成長につながる活動を進めることです。子供達が伸び伸びと活動し成長していける様、これからのPTA活動においても、「今出来ること」を考え、可能な範囲での活動を進めて参ります。

今後とも皆様のご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。



暮らすなら、ここがいい

玉村町長 石川 眞男

P T Aの皆様におかれましては、日々ご多忙の中、子どもたちの健やかな成長のために活動されていることに深く敬意を表しますとともに、町政に対するご協力とご厚情に対しまして厚く御礼申し上げます。

一昨年から新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、日本国内においては、一時感染は落ち着いてきたように感じましたが、今年に入り、感染力が非常に強いとされる変異株「オミクロン株」の市中感染が全国で急拡大するなど、本町においても、その警戒感が高まっています。

P T Aの皆様におかれましては、このような状況下においても、子どもたちの安全な環境を確保するため、登下校や放課後における地域での見守りをはじめ、細心の注意を払いながらの感染防止対策、さらには感染症の影響による急な臨時休校や分散登校への対応など、様々な場面において多大なるご尽力ご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、子どもや家庭を取り巻く環境は、少子高齢化や家族形態の多様化、インターネット等の情報化の進展など様々な社会情勢の変化に加えて、新型コロナの感染拡大が、地域における人間関係の希薄化に拍車をかけ、以前にも増して複雑化しています。

町では、学校やP T Aと密接に連携し子どもたちに寄り添うとともに、「誰一人取り残さない」社会を目指すSDGsの理念の下、玉村町の未来を拓く子どもたちが、生き生きと安心して過ごして行けるよう取り組んでいます。そして「第6次玉村町総合計画」の目指す『暮らすなら、ここがいい。』を実現させ、子どもたちが未来に夢と希望をもって成長できるよう最大限の努力をしております。

また、現下の最重要課題である新型コロナ感染症の収束に向けて全力を挙げるとともに、今年こそは、2年間実施できなかった「たまむら花火大会」や「ふるさとまつり」などを実施し、これまで窮屈な学校生活を余儀なくされてきた子どもたちに、できるだけ楽しみを増やしてあげたいと思っております。

結びに、玉村町P T A連絡協議会の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして挨拶いたします。



未来志向

教育長 角田 博之

P T A会員の皆様におかれましては、各単位P T Aや玉村町P T A連絡協議会の活動に熱心に取り組んでいただいております深く敬意を表します。また、日頃から学校の教育活動等に対するご理解とご協力、多大なるご支援をいただいていることに心から感謝申し上げます。お蔭様で玉村町の学校園では、困難な状況下にもかかわらず子供たちが生き生きと学び日々成長している姿が見られ、この上ない頼もしさを感じています。

本年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、各種P T A行事をはじめ、学校行事、町のイベント等の変更、延期、中止を余儀なくされました。保護者の皆様には、日常の感染防止対策をはじめ、夏休み明けの分散登校等、いろいろな面でご心配やご苦労をおかけしてしまいました。ご家庭の協力あつての学校教育を痛感しております。

このコロナ禍から子供たち（私たち大人も）は様々なことに改めて気づき、深く考え、そして学び、今までと違う自分や社会を創り出そうとしています。こうして世の中は変わっていく、新たな時代の扉が開かれていく…。教育界も然り。求められているのは教育の本質を踏まえた未来教育の創造であり、キーワードは「改革」です。

玉村町教育委員会では、目指す子供像として「確かな学力を身に付け 心豊かにたくましく生きぬく子供」（学校教育）を、目指す人間像として「学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに生きようとする人」（生涯学習）を掲げています。

すべての町民が、子供から大人まで、夢と希望、生きがいを持って未来志向で自己を磨く町。その「夢叶える教育のまち たまむら」を一緒に創っていきましょう。



玉 P 連 協 委 員 よ り

PTA活動を経験して ～小さな力が集まる力持ちのPTAに～

上陽小学校PTA会長 齋藤 裕志

日頃よりPTA会員の皆様におかれましては、仕事・家庭とお忙しい中にもかかわらず、PTA活動にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、新型コロナウイルスの影響が学校生活に大きな影響を与えた昨年度から上陽小学校PTAの本部役員となり、今年度は、上陽小学校PTA会長と玉村町PTA連絡協議会の副会長を仰せつかりました。

本部役員となった当初は、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来の活動をする事ができず、目に見えるような活動をする事はできませんでした。今年度は、従来の活動を見直して、コロナ禍でも活動できるPTAを目指し、計画を立て直すことから始めました。実際は、計画を立てたものの中止となってしまった活動もありましたが、新しいPTA活動が見え始めた1年となりました。

この2年間の活動を通して、PTA活動を行っていなければ話すこともなかった先生や保護者の方と多くの話をする事ができました。その中で感じたことは、子どもたちのことを真剣に考え、何かしたいと考えている人たちがとても多くいるということでした。

ただし、ほとんどの保護者は仕事・家庭・子育てと忙しく、大きな力を割くことは難しい状況です。そんな方々のほんの少しの力を集める箱にPTAがなることで、PTAはとても大きな力を発揮できることを実感することができた2年間であったと思います。

最後に、会員の皆様にはこれからもほんの少しのご助力で構いませんので、皆様の力を少しずつ集めて、PTA活動が大きな力を発揮できるように、変わらぬご協力をお願い致します。

PTA活動を通して

芝根小学校PTA会長 齋藤 良次

PTA会員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動に多大なご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年度からPTA本部役員を務めさせて頂いておりますが、なぜ私がPTA本部役員を引き受けたかと言うと、本校の卒業生で何か恩返しをしたい、また子供達に、面倒くさい事や誰もやりたがらない事でも、進んでやる大人になってほしいという想いからPTA本部役員に立候補をさせていただきました。決して役が好きだからではありません。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな行事や活動が制限され、子供達を取り巻く環境が大きく変わってしまいました。少ない活動の中でも、先生方やPTA会員の皆様とたくさん相談などができた事は、不謹慎ではありますが良かったと感じています。少しずつ日常が戻りつつありますが、まだまだ新型コロナウイルスの影響は続くと思います。

今後も子供達の事を第一に考え、PTA会員の皆様が参加しやすい、活動しやすい環境を模索しながら微力ではありますが、活動していきたいと考えております。

今後とも、ご理解やご協力、またご指導のほどよろしくお願い致します。



玉村幼稚園



親子ふれあい広場

子供たちが毎年楽しみにしている「親子ふれあい広場」PTA活動においても最大のイベントであり、準備を整え開催を心待ちにしておりましたが、コロナ感染拡大に伴い、開催中止となりました。

交通安全教室

6月と2月に予定されていた、交通安全教室。
コロナ緊急事態宣言により開催中止となりました。

読み聞かせ

開催中止となりました。

園内整備・廃品回収

年2回開催される園内整備、9月は開催中止、年4回実施の廃品回収、4月は開催が中止となったものの、6月、9月、12月は開催することが出来ました。

身近に出来るSDGsとして、子供たちにもリサイクルの心が育ってってくれることを願っています。

親子運動会(PTA参加種目)

練習時間も短く、参加者・種目も減らしながらの開催でしたが、子供たちにとって楽しい1日となりました。



もちつき大会

イベント中止が続く中、手洗い、マスクはもちろんのこと、密を避け感染予防に注意しながら、12月もちつき大会を開催することが出来ました。

子ども達だけでなく、参加の保護者も大喜び。みんなで力を合わせてついたおもちの味は格別！

みんなでおいしくいただきました♪



年間行事



4月 入園式、PTA総会

6月 交通安全教室

9月 親子運動会、園内整備

10月 親子ふれあい広場

12月 もちつき大会

2月 交通安全教室

3月 園内整備、修了式

認定こども園 マーガレット幼稚園



運動会

コロナウイルス感染症対策の為、二部制での開催となりましたが、かけっこ、お遊戯などの競技を行いました。帰り際、先生方手作りのメダルをかけてもらって、嬉しそうに帰って来た子ども達の姿が印象的です。

多くの行事が中止になる中、開催できた事を嬉しく思います。子ども達の成長を見る事のできる貴重な機会となりました。



ホームページ <https://tamamura-margaret.jp/>



クリスマス会

マーガレット幼稚園伝統行事であるクリスマス会では、第一部は小さいクラスによるリズムや英語・日本語の歌の発表、第二部では年長・年中による聖劇礼拝が厳かな雰囲気の中執り行われ、イエス様の誕生をお祝いしました。

子ども達が日々練習に取り組んだ事を思うと、胸が熱くなる思いでした。最後には毎年恒例のサンタクロースの登場もあり、心温まるクリスマス会となりました。



玉村小学校

*** ホームページ <https://www.town.tamura.ed.jp/tamura-e/> ***

今年度も、コロナ禍のために例年通りには行事を行うことができない1年でしたが、11月には上学年・下学年に分かれての運動会が行われ、子ども達の全力で頑張る姿や、心を合わせて踊る姿が見られ、たくさんの感動をもらいました。

P T A活動としては、旗振り・防犯パトロール表の作成と実施、持久走大会の交通整理等を通して、登下校や学校行事の際の安全確認と見守りを行うことで、子ども達が安全に安心して学校生活が送れるように努めてきました。また、12月に行われた学校保健委員会では「おやつを上手に食べよう～知ってる？おやつのお話～」をテーマに、児童の保健委員会のみなさんの発表を聞きました。砂糖（S）油（O）塩（S）の摂取量を考えながら、工夫しておやつを食べることの大切さを感じました。薬剤師や栄養士の先生方からも指導講評をいただき、大変勉強になる内容でした。

毎年恒例である玉小フェスタ、親子清掃、クリスマスコンサート（玉小セミナー）を開催することはできませんでしたが、日々のP T A活動にご協力いただきました先生方、保護者の皆様、委員会・役員の皆様、本当にありがとうございました。





上陽小学校

ホームページ <https://www.town.tamamura.ed.jp/joyo-e/>

上陽小学校では、コロナ禍に合わせたPTA活動を探りつづけた1年間となりました。改めて年間活動や各委員会の活動を見直し、活動を行ってきました。感染症拡大の影響により、計画を立てたものの実施できなかった活動もありましたが、新しい上陽小PTAの形が見えてきた1年間となりました。主な活動を紹介します。



お小遣いアンケート

文化広報委員会では、例年保護者を集めたイベントや広報紙の発行を行ってきましたが、今年は保護者が身近に感じていることについて、アンケートを取り、各家庭の参考にしてもらう報告を行いました。今年のテーマは「お小遣い」。各家庭の平均的な状況を知って、親子で話し合うきっかけになればと思います。



おやじの会 運動場整備・運動器具整備

普段、PTA活動に参加しづらい保護者にも活躍ができる場を！ということで、おやじの会（もちろん母親の参加も可能）で運動場整備や縄跳び台などの製作を行いました。

DIYが得意な方、製作が得意な方、力自慢の方、いろんな保護者が力を合わせて活動しました。

運動場がきれいになったことに加えて、保護者同士がいろいろな話をするのができ、距離がぐっと近くなったことも大きな成果です！



エプロン補修ボランティア

厚生委員会では、子どもたちが給食で着用する給食エプロンの補修をしました。子どもたちが気持ちよく給食を着てもらえるように各家庭で分担して、エプロンのほつれなどを補修。みんなで使う給食エプロンをこれからも大切に使用していってほしいと思います。



芝根小学校



ホームページ <https://www.town.tamamura.ed.jp/shibane-e/>



校外指導委員会

子供達の安全を第一に考え、毎日の旗振りはもちろん、放課後パトロールや芝根区の危険箇所マップを作製し、今年度も危険箇所の確認をしました。

新型コロナウイルスの影響により、今年度もさまざまなPTA活動や行事に制限が掛かりましたが、そのなかでも活動ができたことをご紹介します。

本部役員 齋藤 良次



整備委員会

毎年恒例の花植えを行いました。この活動は、卒業式や入学式を華やかで子供達や保護者の方の思い出に残る式にしたいと言う想いから毎年行っています。11月13日（土）に、芝根小かたらいの広場にて、整備委員会のメンバーを中心に、ボランティアの保護者や子供達、先生方の30人前後が集まり、プランターにパンジーの苗を植えました。



芝根小学校では、年々児童数も減少していますが、PTA会員の皆様や先生方、ボランティアの方達と相談をしながら、子供達の事を第一に考えて今後も活動していきます。

中央小学校

<https://www.town.tamamura.ed.jp/chuo-e/>

本年度も思うように行事を行うことが出来ない1年でしたが、中央小学校では感染症対策を行いながら学校行事、PTA活動を行いました。

主な学校行事では10月に学年ごとに分かれて体育学習発表会の開催、11月には持久走記録会を行いました。各学年の子供達が一生懸命練習した成果を発揮してくれました。

PTA活動では学年学級部が『親子で考える人権標語』の募集と掲示。12月には学校保健委員会に参加し、『あなたの目は大丈夫?』をテーマに児童が発表を行いました。3月にはエプロン修繕を行う予定です。

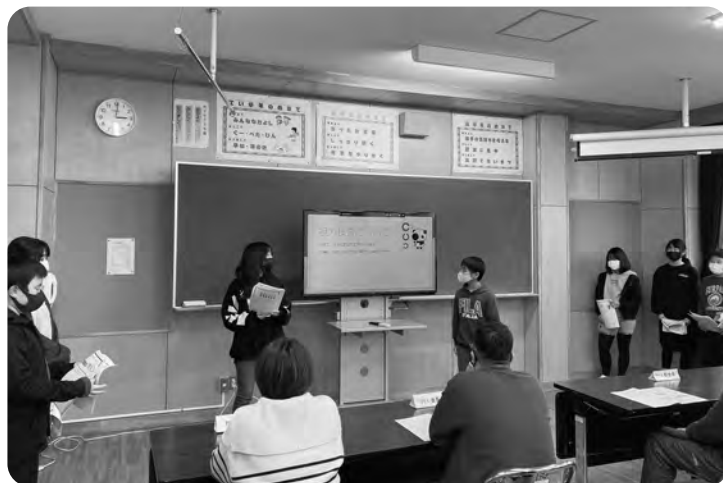
広報部では広報誌『中央小チャンネル』を発行。第35回群馬県PTA広報誌コンクールで『奨励賞』をいただきました。

地域環境部では毎日の旗振り、旗振り表の作成。フォームによる地区別懇談会を行い、通学路での危険な箇所や不審者情報などについてアンケートによる意見交換をしました。

おはなしの会では、読み聞かせの様子を動画に撮り、学級で試聴しました。また、1月からは各学級で読み聞かせを実施する予定です。

今後さらに活発なPTA活動に発展していけるように努めてまいります。

先生方、各部の役員の皆様、保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



学校保健委員会の様子



玉村南小学校

<https://www.town.tamamura.ed.jp/minami-e/>

今年度も新型コロナウイルスの影響が続き、思うような活動ができるか心配されましたが、警戒度に応じ制限を設けた上で各行事を開催することができました。

10月には奉仕作業として先生方とPTAとで花壇の除草作業と校庭の整備を行い、昨年度は開催できなかった運動会も規模縮小ではありますが開催することができました。分散登校で練習時間が満足にとれない中、子どもたちが一生懸命練習し取り組んだ姿を見ることができました。

また11月には例年行われている4・5年生参加の米作り行事（稲刈り・脱穀・粃摺り）を、地域の農家の方々の協力のもと本部役員と関係学年の保護者にもお手伝いいただき実施することができました。今年度は近年にない豊作であり、多くの関係者に収穫したお米を提供することができました。

また、持久走大会についても観覧制限はありましたが、子どもたちが一生懸命に走る姿に心を打たれました。なかには感染症予防を重視し中止せざるを得なかった活動や行事もありましたが、コロナ禍で各行事の開催を判断してくださった先生方や協力してくださった役員及び保護者の皆様に心より感謝申し上げます。





玉村中学校

ホームページ <https://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-j/>



修学旅行 ★★★★★

中学校生活、最後の一大イベント。三年生の修学旅行が行われました。

コロナ禍ということもあり、再延期、短縮日程となりましたが、修学旅行スローガン『繋ぐ友情 創る記憶 最高の思い出をこの地で ～北陸の伝統を学ぶ～』にある最高の思い出が北陸の地で作れました。

後日、スナップ写真を拝見させて頂きましたが、皆、キラキラとした最高の笑顔をしており、楽しさがこちらにも伝わってきました。

今回、コロナ禍での修学旅行の実施にあたり、御足労をいただきました学校関係者の皆様、本当にありがとうございました。



合唱祭 ★★★★★

玉村中学校の四大会事の一つである合唱祭が10月20日に玉村町文化センターにて行われました。

今年はコロナ禍での開催のため、保護者は前年度に引き続き、配信での視聴となりました。三年生

にとっては中学校生活最後の合唱祭、二年生にとっては前年度の経験を踏まえてより迫力のある合唱祭、一年生にとって初めての合唱祭、各学年様々な緊張感が伝わってきました。



体育祭 ★★★★★

コロナ禍での開催のため短縮・観覧等の制限をして行われました。

クラス一丸となって優勝を目指し、団結して全員で楽しむことができ、学校行事の大切さや参加することの意義を感じられたと思います。

球技大会・体育祭・合唱祭・マラソン大会は玉村中学校の四大会事として受け継がれています。コロナ禍で行事を諦めるのではなく、リスクを負いながらも行事を開催していただき、先生方には感謝を申し上げます。



南中学校

ホームページ <https://www.town.tamamura.ed.jp/minami-j/>



あいさつ運動 ★★★★★

毎週月曜日の朝、PTA役員が3カ所の門に2人ずつ立って、子ども達の登校のようすを見守りながらあいさつをしています。ほとんどの子ども達が自分から「おはようございます!」とあいさつをくれるので、気持ちがよく、やりがいがあります。25分という短い時間ですが、子ども達や学校の雰囲気がよくわかり、とても意義のある活動だと感じました。



リフレッシュ南中 ★★★★★

毎年、11月下旬の土曜日に、PTA地域文化部を中心に、PTAと生徒で「リフレッシュ南中（学校の大掃除）」を行っています。今年度は11/27(土)に行いました。肌寒い季節ですが当日は天気にも恵まれ、普段は手の届かない部分まで清掃を行いました。今回はいつもよりたくさんの人達に参加していただき、1時間で校舎の中も外もピカピカにすることができました。身長より高いところを率先して掃除してくれた生徒もいて、頼もしい姿も見られました。



持久走大会 ★★★★★

12/9(木)、12/15(水)の2日間、学年別の持久走大会が行われました。校外を走るため、PTAが沿道に立って交通整理のお手伝いを行いました。生徒たちは、沿道の応援に背中を押され、みんな必死に「自分」とたたかいながら一生懸命走っていました。走っているときは苦しそうなお子もいましたが、走り終わったあとは達成感と安堵感からか、どの子もいい表情を見せてくれました。

令和3年度

群馬県PTA家庭教育研究集会

令和3年 11月4日(木) 開催

令和3年度家庭教育委員会講話を聞いて

玉村中学校PTA 萩本 由香利

群馬県には子供達に関わる50以上の組織があり、玉P連も構成員として本研究集会に参加しました。その内の家庭教育委員会は「子供達のたくましく生きる力を育むために自ら学ぶPTA活動を推進しよう」と今年の目標を掲げ、家庭教育力を高める研修会を行っています。本紙面で、この研修会の様子を簡単にお伝えします。

① いじめについて

「みんながゲートキーパープロジェクト」味方になりきるコミュニケーション講座。

人の目は出来ない事・欠けている所にフォーカスしがちだそうです。また、人がグループをつくる心理は、共通するものを好み、多様性を認めない傾向があるようです。

次に、いじめによる引きこもる深層心理を学びました。60万人といわれる引きこもりの人達が活躍しようとしている未来がある一面、子供にとって味方になりうる親・信頼できる理解者の存在を増やす事が必要だと感じました。

② 体力作り

成長期を迎える子供の体力づくりについて学びました。小・中学校での時間では休養と栄養・良い眠りで焦らずに体の成長を待とう、スポーツプレイヤーとしてのピークはもう少し後に見据えようとの事でした。また、子供の筋力の変化についても触れました。乳児時代のベビーシューズから始まる足裏保護やしゃがむ必要のない生活へと変化している事は、筋肉の柔軟不足を招く一因だそうです。体力を回復する眠りは朝の目覚めから始まっている、という興味深い話もうかがいました。

③ 食 育

成長期の食生活、特にスポーツをする為の食事にフォーカスした学びでした。(賢く食事を摂る事が出来る“ヒト”という存在)お菓子で賄おうとせず、補う食「補食」の在り方、栄養素を体内に巡らせる水分の重要性も見直して、健康・体力アップを積み重ねようというものでした。家庭だけでなく、学校側も食へのアプローチとして、生徒自身での食事意義を高める取り組みを行っているそうです。また、運動部毎の特徴ある動作に着目し、筋力を高める食事メニューの提案をして下さいました。

④ ネット・スマホ問題 ～子供も大人も一緒に考えよう～

群馬県で制作している動画「ツルノス」で公開されている、ネットリテラシー向上動画教材を見て学びました。ネットの依存、いつでも簡単に書き込める故のいじめ、スマホを持たせるとしたら親子で共有できるルールを作ろう等、教えて下さいました。子供は“自分の世界を広げていきたい” 想いでいますという言葉が印象的で、ルールを守る心の成長を応援しようとおもいました。

⑤ 全体会「笑顔があふれる家庭内コミュニケーション」

コロナ禍での子供達の心の変化。また、思春期・反抗期のメカニズム、状況別対応について学びました。

小・中・高校生のコロナとストレスについては、目標を失う喪失感を抱えている子供の多さ、同時に希死念慮という言葉が聞きました。また、緊張が緩み始めるとSOSが出やすくなる傾向が11月～12月の時期に多く見られるそうです。

思春期の子供は独立に向け同性の仲間(友達や先輩)との共有時間・事項が増え、親への目線は幻想から幻滅へと変わり始めるそうです。この時、甘え(子供モード)・反抗(大人モード)の傾きが心の中で起きているのも忘れないようにとの事でした。思春期でも、この傾きをしっかり受け止め満たしてあげられるようにしたいものです。

親は質問の嵐になりがち、離れていく寂しさを“モノ”で釣ったり、怒りや哀れを感じ取らせて子供を縛らないようにとアドバイスを戴きました。この時期は親にすると「子離れの準備」 離れるの以前はくっついていた関係で、剥がれる痛みは大人でも痛い聞き、心に納まるものがありました。子離れの喪失体験を誤魔化さずに向き合える親に・・・という充実した学びの機会となりました。



中学生の主張に接して

田村 恭一



「^{くら}学びて思わざれば則ち罔し、^{あや}思いて学ばざれば則ち殆うし」という孔子の言葉がある。＜罔い＞とされるのは、理解したような気になるだけだからであり、＜殆うい＞のは、独断的・独善的になりがちだからである。前者からは二番煎じの退屈なものしか出てこないし、後者から出てくるものは聞きづらい。大人の主張は、前者か後者のどちらかに傾きがちである。

教育委員という職務上、中学生の書いたもの、口頭発表のものに接する機会があるが、秀逸なものが多い。それらの主張には、新鮮さ・独創性があり、かつ共感を誘う社会性・普遍性がある。

「学ぶ」と「思う」のバランスが、良く取れているわけである。このバランスの良さに、中学生の心と思考との柔軟さが端的に現れているように思われる。柔軟さゆえの苦悩もあろうが、いつまでもそれを持ち続けて欲しいと願わずにはいられない。

こうした中学生の主張に接すると、新しい社会を創ってゆく新しい世代の確かな成長を実感することができる。新しい世代の持つ可能性は、旧い世代にとっては希望となる。彼らの主張を、何らかの形で、町民の方々に広くお目にかける機会があればと思う次第である。



「答えは、どこに？」

須永 智



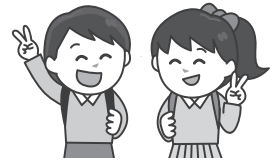
筆者が群馬県の仕事で尾瀬の至仏山登山道調査を担当した際、見事なユキワリソウ（桜草の仲間）群落に出会ったことがあります。ところが、その群落は登山道脇の崩壊斜面と健全植生地（植物の自然状態）との境界にありました。「このままでは登山道崩壊に巻き込まれてユキワリソウ群落は、なくなってしまう」と感じ、周辺の生育状態を調べました。

しかし、健全植生地の中では、チシマザサや丈の高い植物が隙間なく生育していて、ユキワリソウの育つ空間はありません。ユキワリソウは他の植物との競争を避けるように、健全植生地の最も脇の崩壊地に接した隙間空間のある日当たりの良い、しかも崩壊からも免れることが可能な微妙な環境に生育していたのです。ユキワリソウに限らず植物は、日なた・日陰・安定地・崩壊地などの多様な環境にそれぞれうまく適応して互いに生き残ってきました。この事実は、子どもの学校生活での居場所、さらには人生の目標にも通じるものがあるように感じます。大人目線での正解が、果たして本当の意味で個々の子供に合っているのか？「答えは、どこに？」それは「子どもの中に・・・。」



一年を振り返って

木暮 朱美



昨年度は、新型コロナウイルス感染で、運動会や修学旅行が中止や延期になり、子供たちはがっかりし、寂しい気持ちになっていました。しかし今年度は新型コロナウイルス感染が止まらない中でも、先生方が色々考えて下さり、今年こそは保護者の方にも子供たちの成長を見てほしいとの思いで、対策を行いながらの運動会や、楽しい修学旅行と色々な行事を行うことが出来ました。子供たちはとても嬉しい気持ちになったと思います。

日頃からの学校生活の中で、取り組んできた「こまめな手洗い・消毒」「マスク着用」の感染対策を継続しつつ、子供たちの頑張っている姿を見せてくれました。家庭では見られない子供たちの表情や頑張りをみることができ、先生方に感謝しています。

もうしばらくは新型コロナウイルスの感染対策により、思うような学校行事ができないかと思いますが、1つでも多くの行事が行えるようになることを切に願っています。



「コロナ禍での気づき」

井上 景子



一昨年3月、感染症の影響で子供たちは3か月間休校になりました。当時の私は、一保護者として、とても不安を感じました。親として、学校の勉強（教科書に掲載されている事）を習得させなければ…と焦りました。しかし私の不安を払拭してくれたのは子供たちでした。子供たちは、自分の興味のある事を本やネットで調べ、フィールドワーク（庭遊び）の中で学びを深めていました。ある子は、地球や鉱石の図鑑や本を読む事に没頭し、庭では地面をひたすら掘り、石を探し出し、ゴーグルをしてハンマーとタガネで石を割り続けました。石の中から鉱石が出てくるかもしれないという探求心からでした。子供たちは各々自分の興味ある事に没頭していました。その姿を見て、学びというのは、自分の中から湧き出てきた疑問や好奇心を、自分自身の行動を通じて理解を深めていく事なのだと感じました。そしてその学ぶ力（好奇心）は子供たちの中にある事に気付かされました。

子供たちはコロナ禍であろうと、しなやかに成長を続けています。成長してない子は一人もいません。100人いれば100通りの成長の仕方があります。教育とは、全ての子供たちが、自分の好きな事（興味がある事・やりたい事）に気付く為に、様々な分野の事を系統立てて教えたり考えさせたりしているのだと感じました。次世代を担う子供たちの柔軟性と意欲を信じ、今の子供たちに本当に必要な教育のあり方を考えていきたいです。

玉P連協の主な行事

令和3年

- 4 新旧本部役員引継会【玉村小学校】
総会(紙面開催)・懇親会(中止)
第1回役員会(書面による連絡)【玉村中学校】
親睦スポーツ大会(中止)・懇親会(中止)
- 4 群馬県PTA家庭教育研究集会【群馬県生涯学習センター】
第2回役員会【玉村中学校】

令和4年

- 3 連協だより発行【各学校園】

編集後記

今年度も玉P連協だよりを無事に発行することができました。各単P役員の皆様には、大変感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度同様、様々な行事が中止となり、活動報告も縮小しての作成、報告となりました。

本誌を通じて、玉村町の各幼稚園、各小・中学校とPTA連絡協議会の活動を知っていただく一助となれば幸いです。

会長
鈴木 正樹 (玉中)

副会長
齋藤 裕志 (上小)

副会長
齋藤 良次 (芝小)

常任理事
櫛渕 広幸 (玉幼)

常任理事
中曽根えみ (マ幼)

常任理事
吉澤 勇二 (中小)

常任理事
石関 智彦 (南小)

常任理事
町田 晃 (南中)

常任理事
石原 正文 (玉小)

常任理事
板橋 伸晃 (玉中)

常任理事・女性代表
萩本由香利 (玉中)

常任理事
田中真奈美 (玉中)

女性代表
齋藤 裕美 (玉幼)

女性代表
笠原 千夏 (マ幼)

女性代表
羽鳥 啓子 (玉小)

女性代表
田中 知美 (上小)

女性代表
松本 香織 (芝小)

女性代表
横山由紀子 (中小)

書記(事務局校)
馬場 崇 (玉中)

書記
相原真由実 (玉中)

女性代表
堀越 裕子 (南小)

女性代表
熊澤 美幸 (南中)

会計監査
櫻井 愛子 (玉小)

会計
前原 武 (玉中)

会計(事務局校)
村島 賢司 (玉中)

会計監査
佐久間奈津紀 (南中)

会計監査
横堀 幸子 (南小)

都P事務局
齋藤 博 (生涯学習課)

顧問(事務局校)
関口 雅晶 (玉中)

顧問
永井 清道 (玉小)